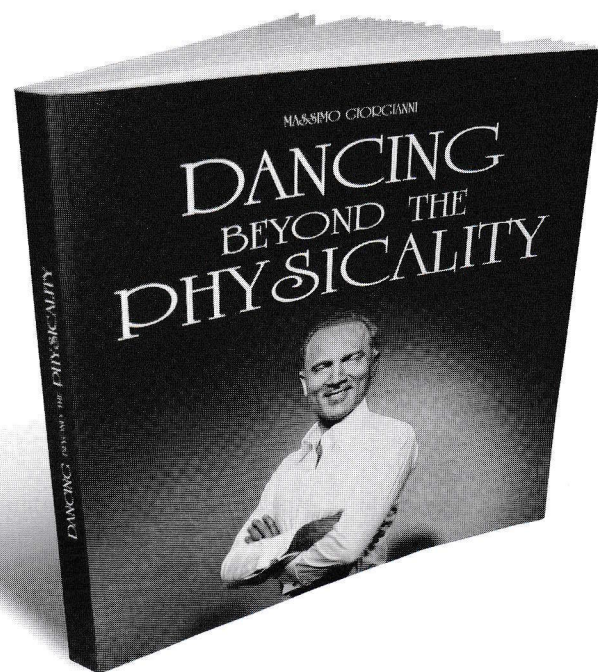


# Massimo Magic

—マッシモ・マジック—

フィジカル、**最終回** その先にあるもの。

DANCING BEYOND THE PHYSICALITY  
—Final in a series of 3—



マッシモ氏の本の紹介は今回が最終となります。

全 151 ページ、12 章から成る本の中から序章と第 1 章のみの  
ご紹介となりましたが、お楽しみ頂けましたでしょうか。



Massimo  
Giordanni

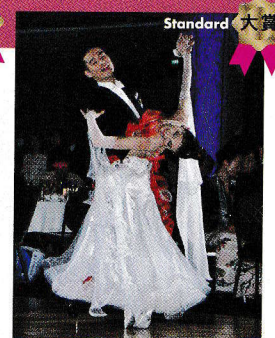
◎マッシモ・ジョルジアンニ

1978年、パートナーのアレッシア・マンフレディーニとジュニア大会でカップルデビュー。1997年にターンプロし、その年のUK選手権で7位入賞、ライジングスターで優勝を果たす。さらに、2001年全英選手権では総合3位という成績をおさめ、この年をもって引退を表明。その後、ミラノ近郊のスタジオやワークショップで後進の育成に努めている。

## 殊勲選手賞



長島大志&中尾友美



菅谷和貴&尾崎育代  
(最優秀選手賞にもノミネート)

Latin American  
ノミネート選手

古賀太一&菊池有真  
新井健伊稚&新井由紀子  
吉本雄幸&吉本響子  
進藤博信&奥原怜美  
庄司卓広&小形和美

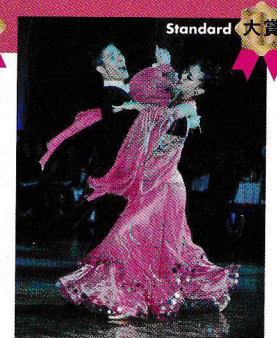
Standard  
ノミネート選手

鈴木 啓&古川玲奈  
井崎健太&塩田彩子  
菅井 学&尚和由里子  
田村晃男&若尾 律  
田口 周&江澤美鈴

## 新人賞



長岡 瞬&長岡加那子  
(S新人賞にもノミネート)



福田健一郎&森 由希  
(S敢闘賞にもノミネート)

Latin American  
ノミネート選手

松倉尚仁&東福美希  
阿形 優&荒木明香  
斉藤 亮&若林鮎美  
三信真樹&佐枝美歩  
中村明生&有路桃子

Standard  
ノミネート選手

丸山貴史&森川菜々子  
大内彰太&尾身空木  
村田翔里&初瀬川千夏  
小松拓哉&殿岡夏子  
長岡 瞬&長岡加那子  
島岡由亮&小櫻綾子

## ボールルーム クィーン賞



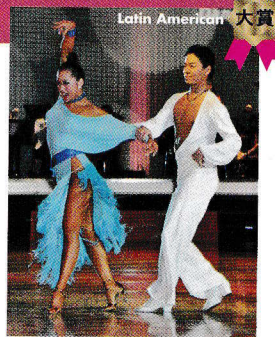
武藤法子

## 特別賞

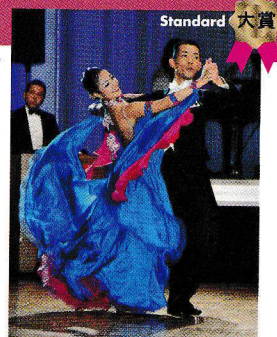


河原 央&新井いづみ

## 敢闘賞



歩兵敏夫&大場みち子  
(L躍進賞にもノミネート)



小林恒路&赤沼美帆

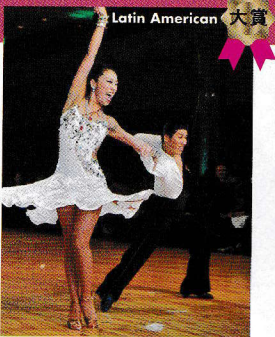
Latin American  
ノミネート選手

相田和也&長田 彩  
高橋祐貴&的場栄美  
市川 賢&北岡真苗  
梅田慎太郎&吉住絵梨奈  
畔上 力&畔上 光

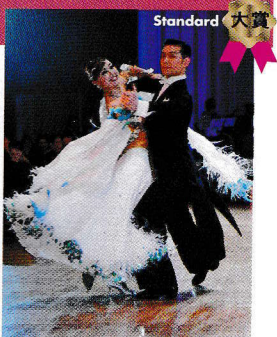
Standard  
ノミネート選手

佐藤純平&亀山聡美  
福田健一郎&森 由希  
小浜英一&奥山さやか  
山崎圭太&石本美奈子  
岡田直人&若槻絵里子

## 躍進賞



山本武志&木嶋友美  
(S躍進賞にもノミネート)



福田裕一&原田 愛

Latin American  
ノミネート選手

村田雄基&齋木智子  
歩兵敏夫&大場みち子  
須藤達矢&大森あさみ  
庄子洋平&庄子由佳  
上田和幸&神津良江

Standard  
ノミネート選手

末安祐一郎&木村友華  
山本武志&木嶋友美  
白神 淳&石口瑞恵  
田松周一郎&花盛香織  
新井 透&飯塚一恵



# I n t e n t i o n

When you move, it's important to be conscious of **why**. It is important to feel the value of a certain movement. I don't raise my leg simply because the choreography tells me to. I could, for example, raise my leg while feeling and showing a stretching of the limb in space and give the illusion of an infinite energy beyond the edge of the pointed foot. This way, I bring the attention of the viewer into the infinite. Intention is successful if the spectator is drawn in and perceives the dancer's will with his own language of the senses. If this doesn't happen, it is akin to talking to ourselves without caring if the audience understands us.

Dancing is a language that is mute on the outside but not on the inside. When we move, we should be having a continuous inner dialogue about what we are performing - a magic language, a language directly connected to the feeling that we want our partner or audience to have.

It is impossible not to communicate: the problem is choosing what to communicate. You can communicate imitating the illusionist, with tails and a cloak, or not. The illusionist is sure of the outcome of the trick. He knows the audience will react a certain way; he imagines their faces, their stupor and he knows how to read their minds. In that moment, has no doubt of the outcome. If this weren't so, he wouldn't have the same effect.

I urge the dancer to adopt the same mental dynamics as the illusionist: *We must become our own audience; we must see ourselves create that movement and see the effect, the magic, fascinates us.*

I don't believe that performing steps in rhythm,

in an upright position is enough. We have to be conscious of what we want to say and use these steps to get the magic across. The magic is not in the steps themselves but in the intention we have while carrying them out.

~~~~~  
Illusion is also in simple things. (M.Giorgianni)  
~~~~~

## EXERCISES: Create your own magic

- Start thinking this way.
- What do you want to say, plan what you would like the viewer to perceive watching you.
- Isolate choreography points that you want to emphasize, and realize you are being watched.
- Sit in the room, imagine dancing and imagine the audience's reaction.

## SUMMARY

1. The dancer-illusionist is aware of the effect of his movement and is convinced that the audience will react the way he wants.
2. The dancer must think in a magical way.
3. Illusion comes from within and is perceived from without.
4. Dance is a mute language on the inside which gets expressed on the outside.
5. Rid yourself of any doubt that the movement won't come off as desired.
6. Improvement of when (time) and why (intention).

~~~~~  
This is the last article in the series of 3. Although only the "Preface" and the "Chapter 1" were taken up by Dance Wing, it is hoped that you enjoyed them very much and will choose to investigate his book. (Dance Wing Editor)  
~~~~~

This article is an extract from "DANCING BEYOND THE PHYSICALITY" and is reproduced here with the kind permission of the author.

## 意図

私たちは何らかの動きをする時、そうする理由に気づいていることが重要です。なぜその動きをするのか、その価値を感じ取るのが重要です。私は、単に振り付けがそうだからと言って足を上げるようなことはしません。しかし、その目的が持ち上げた足のストレッチを見せることだとか、足先からエネルギーが果てしなく流れ出る感じを演出するのだしたら、きつと振り付けに従うでしょう。観衆をずっと引きつけていられるのですからね。観衆が、そうしたダンサーのセンスを感じ取って引き込まれたら、ダンサーの意図は達成されたと言えます。それができなかった場合、それは、観衆のことを何も考えずに独り言を言っているようなものです。ダンスとは、表面的には無言であっても内面的にはそうではありません。ですから、踊っている時、あなたの内面ではその動きに関する会話が続けられていなければなりません。それは魔法の会話です——パートナーに、そして観衆に感じ取って貰いたいあなたのフーリングと直結している会話なのです。

コミュニケーションをしないことは不可能ですが、そこで大切なのは何をコミュニケーションするかです。私たちダンサーがそれらしい衣装を身に着け、イリュージョニストの様にコミュニケーションすることもできますが、イリュージョニストは確実にトリックの結末に起こる観客のリアクションを知っています。呆然とした表情まで想像しています。そうなることに微塵の疑いも持っていない。そうでなければ、期待する結果は得られないでしょう。

ですから、私はダンサー達にイリュージョニストと同じ精神的なアプローチの仕方をを用いることを勧めるのです——自分自身の観客となり、自分が作り出す動きを見、自分のマジックが上手く働いて、自分を魅了するかどうか。

それがリズムに合っていると、真つ直ぐ立っているからOKだとか、そんな

ことだとは思いません。何を伝えたくてそのステップを使うのかを明確に知っておかなくてはなりません。魔法をかけたのですから。魔法はステップの中にあるではありません。ステップをしている最中の、あなたの狙いの中にあるのです。

~~~~~  
シンプルな中にもイリュージョンはあるのです。  
(マッシモ・マジック)

## あなただけのマジックを練習してみよう

~~~~~  
このように考え始めてください。

- 観衆に伝えたいことは何ですか？ 観衆に感じ取って欲しいことを設計しましょう。
- 強調したい振り付けのポイント抜き出し、その場面で自分が観られることをはっきり認識しましょう。
- 心を静かにして、踊っている所と観衆の反応をイメージしましょう。

## まとめ

1. イリュージョニストになったダンサーは、自らの動きの効果を知り、望んだ通りの反応が観衆から来ることを確信しましょう。
2. マジシャンのように考えましょう。
3. イリュージョンは中から現れたものが外で気づかれます。
4. ダンスとは無言の言葉が表現されるものです。
5. 望むような踊りができないかも知れないという疑念を、自分自身から取り除きましょう。
6. それを行うタイミングとそれをする目的を、より明確に持ちましょう。